

単元名「私たちの暮らしと現代社会」

第3学年 公民的分野 A(1)

◆本実践の概要

- ・コロナ禍における現代社会の新たな特色を「〇〇化」として定義づけ、その特色が今後どのように変化していくと考えられるか考察する。
- ・個人 or ペア or グループ、インターネット or 本、プレゼンテーションソフト or 紙など、自分に適した課題解決のための方策を考え、学習を進めていく。
- ・OPPシートには、学習内容の振り返りに加え、学習方法の振り返りも記述し、「単元を貫く学習課題」や「本時の学習課題」の解決のために自己調整しながら学習を進めていく。

1 単元の目標

位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにする。

- ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られること、現代社会における文化の意義や影響について理解する。
- ・少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響や文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 ・現代社会における文化の意義や影響について理解している。	・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	・私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

3 単元について

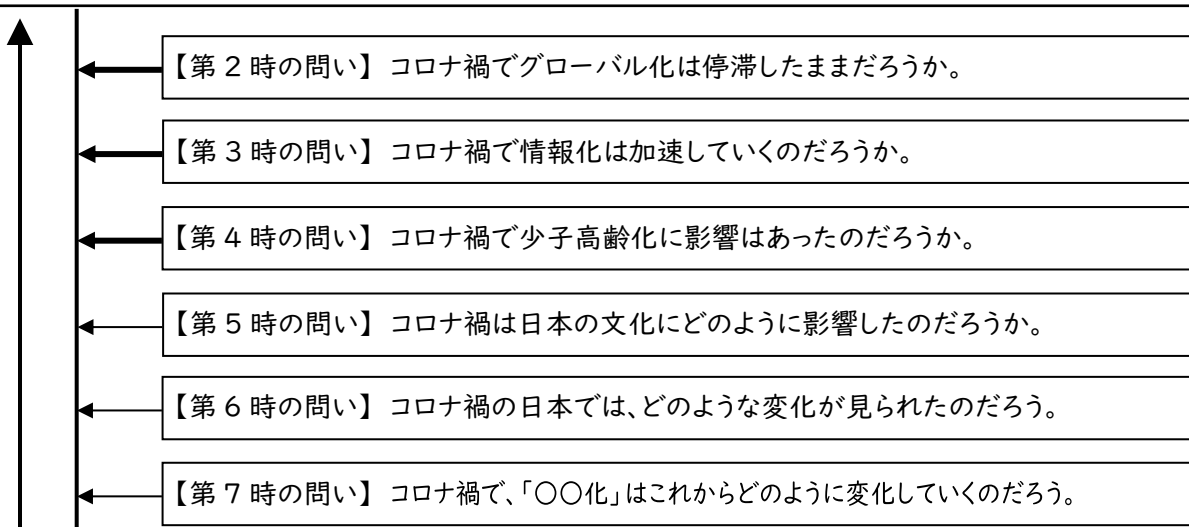
ここ数年、世界中で猛威をふるう新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の影響で、私たちの生活は大きく様変わりした。とりわけ、学校現場においては、感染拡大防止のために様々な活動が制限されたり、行事や会議等の在り方が見直されたりしてきた。

本単元は、教科書（本校では教育出版の教科書を使用）で扱われている、「少子高齢化」「情報化」「グローバル化」といった現代社会における特色や「文化の継承と創造」に対して、「コロナ禍による変化」という視点を加えて、現在および将来の政治・経済・国際関係に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現させる。コロナによって社会がどのように変化し、またこれから先どのように変化していくと考えられるかを生徒それぞれの視点から考えさせ、現在と将来に与える影響を多面的・多角的に表現することができる教材である。

4 単元における問いの構造

【単元を貫く学習課題】(第1時・第8時)

コロナ収束後の日本は、どのように変化していくのだろうか?



5 指導と評価の計画

○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」

時数	ねらい・学習活動	評価の観点			評価規準 (評価方法)
		知	思	態	
1	「現代の社会ってどんな社会だろう?」「単元を貫く学習課題の設定」 ◇グループでの対話的な学習で、単元を貫く問いに対する疑問を挙げながら、学習課題を設定するとともに、課題解決への見通しを立てる。			●	●ポートフォリオ
2	「コロナとグローバル化」 ◇グローバル化の長所・短所について理解するとともに、貿易額の推移や訪日外国人・出国日本人のグラフをもとに、コロナ禍での影響や今後の動向について考察し、表現する。	●	●		●ワークシート ●ポートフォリオ
3	「コロナと情報化」 ◇情報化の長所・短所や「IoT」「BYOD」「ワーケーション」等の語句を理解するとともに、情報リテラシーを身につける。内閣府作成の「Society5.0」に関する映像を視聴し、それをもとに今後の情報化の進展について考察する。また、コロナ禍での学校・社会のようすから、今後の動向について考察し、表現する。	●	●		●ワークシート ●ポートフォリオ
4	「コロナと少子高齢化」 ◇初婚年齢や初産年齢に関する新聞記事をもとに、「合計特殊出生率」や「超高齢社会」等の語句を理解するとともに、少子高齢化が進む背景、課題、解決策について考察する。また、コロナ禍での少子高齢化の加速について、考察し表現する。	●	●		●ワークシート ●ポートフォリオ
5	「コロナと文化」 ◇科学技術の発展や宗教、芸術などの文化が私たちの生活に与える影響について理解する。映画の興行収入、ライブ動員数、オンライン配信への意見などの諸資料をもとに、コロナ禍での日本の文化のあり方を考察し、どのように伝統文化を継承していくべきか考察し、表現する。	●	●		●ワークシート ●ポートフォリオ
6	「コロナと〇〇化」 ◇コロナ禍での私たちの生活の変化について、デジタルホワイトボードソフトを活用して意見集約を行い、それらをグルーピングしながら、「〇〇化」という現代社会の特色を見いだす。		●		●ポートフォリオ
7 (本時)	「コロナと〇〇化」 ◇前時に挙げられた「〇〇化」という現代社会の新たな特色のなかから一つを選択し、調べたり考察したりし、プレゼンテーションソフトを用いて表現する。			●	●ポートフォリオ
8	「単元を貫く学習課題に対するまとめ」 ◇前時までに学習した「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」「文化」に加え、新たに見いだした現代社会の特色を踏まえ、コロナ収束後の日本の変化について、考察、表現させる。また、単元全体の学習について、ポートフォリオを用いて振り返る。		○	○	○ポートフォリオ ○ポートフォリオ

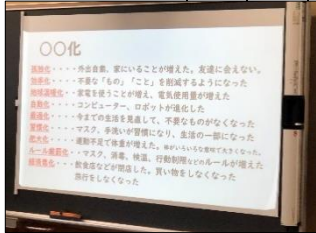

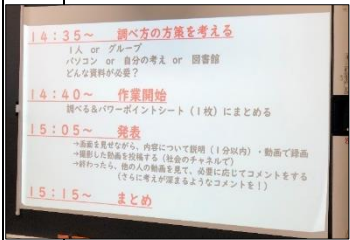



6 本時の授業（第7時）

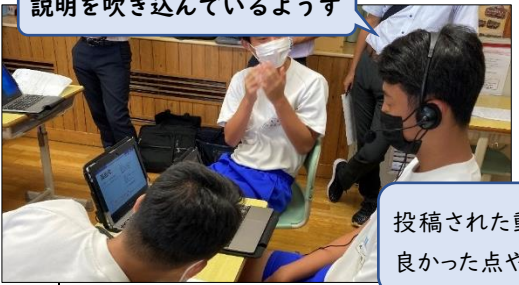

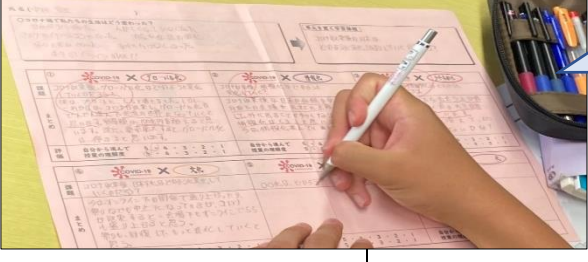
(1) 本時の目標

- ・自分が見いだした現代社会の特色が、現在および将来の日本の政治・経済・国際社会に与える影響について、見通しをもち課題解決に取り組むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 本時の展開

○「評価に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」

	☆ねらい・◇学習活動	指導上の留意点	評価の観点			評価規準（評価方法）
			知	思	態	
導入	<p>☆前時の確認 ◇教師の説明を聞き、前時の授業で出された現代社会の特色を確認し、さらに深めたい特色を選択する。</p> <p>☆学習課題の提示</p> <p>【本時の学習課題】 コロナ禍で、「〇〇化」はこれからどのように変化していくのだろう。</p>	<p>・あらかじめ学習を深めやすい特色に絞っておく。</p> 				
	<p>☆学習課題の解決に向けた見通しをもつ ◇本時の課題をどのように解決するのか、方策を考える。 <方策の具体> ・個人 or グループで課題を解決する。 ・教師からのアドバイスをもらう。 ・どんな資料が必要か。 ・どのような媒体で資料を集めるか。</p>	<p>・それぞれの生徒に応じてアドバイスを行う。 ・活動の途中で方策を変更することが可能であることを伝える。</p> 			 <p>●課題解決の方策について、見通しを持って考えられている。(ワークシート・発言)</p>	
					<p>どのように調べるかを、ワークシートを基に構想しているようです。</p>	
展開 ①	<p>☆学習課題解決のための学習 ◇1人1台端末を活用し、プレゼンテーションソフトを用いて表現する。 (個人 or 共同編集)</p>	<p>・それぞれの生徒に応じて、アドバイスを行う。</p>			<p>●どのように変化していくのか、プレゼンテーションソフトに入力している。(プレゼンテーションソフト)</p>	
	 <p>一人で調べる生徒</p>	 <p>隣の生徒とペアで調べる生徒</p>			 <p>3人で協力し合って調べる生徒</p>	

<p>展開 ②</p>	<p>☆クラス全体での共有 ◇作成したシートを全体で共有する。 ・作成したシートの説明を1分間で行い、その様子を撮影したものをTeamsに投稿する。 ・各自で共有し、必要に応じてコメント等を行う。</p>	<p>・それぞれの生徒に応じて、アドバイスをを行う。</p>		●	<p>●プレゼンテーションソフトに入力した内容を用いて、端的に説明している。(動画)</p>
<p>説明を吹き込んでいるようす</p> 		<p>録画したものを「Teams」に投稿。その映像を見て、良かったところや改善策を返信する。</p> 	<p>「〇〇化」について調べ、PPのシートにまとめた内容を、動画して投稿する。</p> <p>書き込まれた内容を読み、自分自身の今後の学習に活かしていく。</p>		
<p>終末</p>	<p>☆本時のまとめ ◇ポートフォリオへの記入。 ◇次時の内容確認。</p>	<p>・本時を振り返る際、内容面だけでなく、学習の仕方という面にも着目し、記述させる。</p>		●	<p>●本時の課題に対して、解決に向けて見通しをもち取り組むことができる。(ポートフォリオ)</p>
		<p>ポートフォリオによる振り返り。内容についてだけではなく、学習の進め方について記述する。</p>			

(3) 本時の評価

「十分満足できる」状況(A)	「おおむね満足できる」状況(B)	「努力を要する」状況(C)への手立て
<p>自分が見いだした現代社会の特色が、現在および将来の日本の政治・経済・国際社会に与える影響について、見通しをもって課題解決に取り組み、他者のコメントから今後の学習の進め方について改善策を考えている。</p>	<p>自分が見いだした現代社会の特色が、現在および将来の日本の政治・経済・国際社会に与える影響について、見通しをもち課題解決に取り組んでいる。</p>	<p>具体的な調べ方や考え方についてアドバイスをを行い、課題解決に向けて見通しがもてるように支援する。</p>

7 実践を振り返って

コロナ禍で中学校 3 年間で過ごしてきた生徒にとって、非常に身近な問題を教材として取り上げた。単元を通して、絶えず「社会全体がコロナ禍によってどのように変化したか、コロナ収束後はどのように変化していくか」という問いを投げかけ、思考が途切れないような工夫も取り入れた。

コロナ禍において新たに創出した現代社会の特色を「〇〇化」として定義づけ、その特色が、今後どのように変化していくかを追究した。個人、ペア、あるいはグループで PC 等を用いて調べ、プレゼンテーションソフトを使ってまとめたり紙にまとめたりした。それぞれが調べる方策を考え、自分に合った方法を選択して学習を進めることができた。普段、学習についての振り返りを記入しているポートフォリオには、「学習方法」についての振り返りも記入し、「単元を貫く学習課題」を解決するために、どのように学習を進めていけば良いかを、生徒自身が自己調整できるよう促した。こうした学習を進めていく上で、1人1台端末の活用はとて有効であった。